

学番	37	県立長岡工業高等学校
----	----	------------

令和6年度

学校自己評価表（報告）

学 校 運 営 計 画					
学 校 運 営 方 針		「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の育成を図るため、地域と連携してデジタルものづくりなど「学ぶ」ことの大切さを教え、これからの社会で「生きる力」を身につけさせる学校をめざす。			
三つの方針(スクール・ポリシー)					
育成を目指す資質・能力に関する方針 (グラデュエーション・ポリシー)		～卒業までにこのような資質・能力を育みます～ ①主体的に課題を見つける感覚を養い、自ら学び、解決策を創造する資質・能力と産業社会で求められる倫理観と規範意識を育成します。 ②生涯にわたって学び続ける意欲を養い、新たな産業に柔軟に対応する自己指導力を育成します。 ③国際的視野に立って考える姿勢を養い、地域の発展と豊かな暮らしに貢献するために必要な思考力、発想力を育成します。			
教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー)		～上記の資質・能力を育成するため、このような教育活動を行います～ ①共通教科の学びを強化して、基礎学力の定着を図ります。 ②工業高校で学ぶ基本的な知識や技術を習得し、課題研究や新しいＩＴ技術について、主体的な学び方と実践する場を設定します。 ③将来、国内・国際社会で活躍するために必要なコミュニケーション能力や英語力の向上を図り、多様な価値観を持つ仲間との協働的学習を行います。			
入学者の受入れに関する方針 (アドミッション・ポリシー)		～このような生徒を求めています～ ①工業分野に関心があり工業技術者として国際的視野をもち地域課題解決などを志す生徒 ②将来の夢を明確に持ち、積極的に技術や技能を身に付けようと努力を惜しまない生徒 ③部活動や学校内の諸活動に意欲的に励む生徒			
昨年度の成果と課題		年度の重点目標	具体的目標		
新型コロナウイルスの影響はあったが、学校行事等は規模や内容の見直しを工夫して行い実施した。生徒の研究発表等も実施する中で、学年を越えた生徒の交流を促進し、学校の活性化を図ることができた。また、外部や地域とも連携して様々な事業を実施しながら学校運営を推進できた。		①基本的生活習慣の定着と自他敬愛の精神を育成する	規律ある生活態度を養う 交通事故防止と交通マナーの向上 全教職員の共通理解を図る		
		②教育課程に基づき組織的かつ計画的に教育活動の「質の向上」を図る	学習の基盤となる資質・能力の育成 現代的な諸課題に対する資質・能力の育成 地域の人的・物的資源の活用		
		③進路意識の啓発と希望進路の実現を図る	体系的な進路指導計画づくり 望ましい勤労観、職業観の育成 希望進路実現のための基礎力養成		
		④「なすことによって学ぶ」特別活動の取組を図る	人間関係形成 社会参画 自己実現		
		⑤勤務時間に対する意識改革を図る	月80時間を越える時間外勤務をゼロにする。		
重点目標	具体的目標	具体的方策		評価	
②、④ 教科指導	授業規律の確立	授業に不必要なものを片づけさせ、学習環境を整える。		A	A
		授業開始と同時に授業を受ける姿勢を整える。		A	
	自主的学習の促進と学力の向上	基礎的な知識と学力の定着を図る。		A	B
		定期的に課題を与え、自学自習、家庭学習の習慣を身につけさせる。		B	
		生徒研究を奨励し、主体的学習態度を育成する。		B	
		各種資格検定の積極的な受験を奨励し、指導を通じて勤労観・職業観の育成を図る。		A	
		授業の改善・工夫		生徒の『授業・学習アンケート』等を活用し、授業の充実に資する。	

		研究と修養に励み、生徒に興味・関心を持たせる授業の充実を心掛ける。	A		
	個人情報管理と外部への発信	個人情報とネットワークシステムの安全で効率的な運用を行う。	A	A	
		成績処理の発展的なシステムの構築と運用を目指す。	A		
		ホームページを定期的に更新する	A		
①	基本的生活習慣の確立と自己管理の徹底	定期的に服装頭髪指導、立哨指導を行い、高校生として品位ある態度の育成を図る。	B	B	A
		校内での携帯端末の使用ルールの定着を図る。	B		
		全校集会や学年集会等を利用し、規律ある生活態度を養う。	A		
生徒指導	交通マナーの向上	市内の通学路を中心に自転車等の街頭指導を行う。	B	A	
		定期的に駐輪指導、自転車乗車マナーの校内指導を行う。	A		
	家庭・地域の連携の確立	問題行動等を起こした生徒の立ち直りに向けた組織的な指導を行う。	A	A	
		地区生活指導連絡協議会、学校評議員会等での情報交換を活用して、地域住民の信頼を得られるように努める。	A		
	生徒の状況把握進路意識の向上	いじめ防止対策委員会が行うアンケートや、各学年との定期的な情報交換により、生徒の状況を把握することで、適正な指導を行う。	A	A	A
③、④	生徒の適性に応じた主体的な進路選択	適性検査の実施や担任・生徒・保護者との進路相談を励行する。	B	B	A
		生徒や保護者に対するガイダンスを実施する。	B		
進路指導	進路実現に向けての支援強化	実力テストや各種模試を積極的に受験させる。	B	A	
		面接や小論文、応募前企業見学の指導をする。	A		
		推薦入試、一般入試やセンター試験の受験の指導をする。	A		
		履歴書、受験願書など書類の書き方指導をする。	A		
		企業や長岡市、ハローワークとの情報交換を密に行う。	A		
①、④	校友会活動の活性化	大運動会、長工祭などの学校行事に積極的に参加する。	A	A	A
特別活動	部活動の奨励	部活動の意義、役割について理解を深める時間を確保し、参加増による活性化に取り組む。	A	A	
①	保健環境	健康診断の実施、事後措置をおこない、保護者と連携をとりながら、生徒が積極的に学校生活を送ることができるようにとくむ。	A	A	A
		保健講話、救急法の講習会を実施する。	A		
		清掃・大清掃・屋外清掃の徹底および清掃用具の管理に努め、ゴミの分別とゴミ出しのルール徹底を図る。	A		
		感染症予防のため換気・手洗い・マスク着用を徹底するよう指導する。	B		
③、④	円滑な PTA 活動 文化的な環境の整備	PTA行事をととして家庭、地域と学校の結びつきを促す。	B	B	B
		図書館の円滑な利用環境の維持、向上を図る。	B		
		視聴覚機器及び映像コンテンツの充実と適切な活用を図る。	B		
		文化事業の円滑な運営に努め、生徒の情操育成に寄与する。	B		
⑤ 学校全体	勤務時間に対する意識改革	月 1 回の定時退庁日は 18 時まででに退庁する。 夏季休業中の学校閉庁日に休暇を取得する。	A	A	A
成果	新型コロナウイルス感染症やインフルエンザ等感染症の落ち着きに合わせ、感染症対策を行いつつ、運動会や長工祭（文化祭）、中学生高校見学会を意欲的に行った。全校集会や、課題研究発表会を集会形式で行うことができ、学年を超えた交流が活発となった。外部講師による各種講話やインターンシップ・デュアルシステムも実施し、産学官が連携して学びの機会を設けた。		総A合評価 A		

学番	37	県立長岡工業高等学校
----	----	------------

令和 7 年度

学校関係者評価（報告）

学校関係者からの評価・意見等※
・ 自己評価の結果の内容について具体的方策が明確であり、評価がしやすく適切に行われている ・ 自己評価の結果を踏まえた今後の改善方策は実態と合っており適切に推進している ・ 学校の重点目標や自己評価の評価項目等は具体的かつ実態に合っており適切に評価されている ・ 学校運営の改善に向けた実際の取組は実行する中で目標を上回る成果もあり改善されている

※ 「自己評価の結果の内容が適切かどうか」

「自己評価の結果を踏まえた今後の改善方策が適切かどうか。」

「学校の重点目標や自己評価の評価項目等が適切かどうか。」

「学校運営の改善に向けた実際の取組が適切かどうか」などを評価する。

学番	37	県立長岡工業高等学校
----	----	------------

令和7年度

学校自己評価表（報告）

学校運営実施報告	
重点目標	学校関係者評価を踏まえた次年度の主な課題と改善策
教科指導	・進路に役立つ資格や検定について、今後も積極的に受験させて欲しい。 ・家庭と学校が連携し、家庭学習時間を確保する取り組みをしてもらいたい。 ・服装頭髮の指導について、学校と家庭の連携した指導が必要である。
生徒指導	・登下校時の交通マナーを向上していく。 ・生徒の挨拶は良いので継続指導してほしい。 ・デートDVや薬物乱用防止の講習会など継続して実施してほしい。
進路指導	・就職者にも進学者にも早い時期から取り組めるよう情報提供をして欲しい。 ・3年間を通したキャリア教育を計画的に取り組んでももらいたい。 ・卒業生の入った企業の情報を中学生に伝える機会があったらよいのではないかな。
特別活動	・体育祭など学校行事に生徒が主体的に参加しており継続してもらいたい。 ・部活動による心身の成長が大きい。多くの生徒が部活動に加入する取組を実施した。
保健環境	・環境を考えゴミの分別やゴミ置き場の整頓等、環境意識の向上を図って欲しい。 ・AED、救急法の講習会など継続した実施が必要である。
文化渉外	・学校からのメール配信で、行事予定が分かってよかった。 ・スクールエンジンによる欠席、遅刻連絡が活用され保護者と学校の負担が軽減された。